

令和4年度

事業報告

公益財団法人 日本農林漁業振興会

# 第1 事業報告

令和4年度も、公益目的事業である農林水産祭事業（農林水産業及び農山漁村の振興発展のための表彰、普及及び消費者啓発事業）を行った。

## I 農林水産祭事業

### 1 顕彰普及事業

#### (1) 優秀農林水産業者の選賞審査

令和4年度(第61回)農林水産祭参加表彰行事(230行事)において、農林水産大臣賞を受賞した7部門（農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営及びむらづくり）の優秀な農林水産業者392点について、農林水産祭中央審査委員会(以下「中央審査委員会」という。)会長：伊藤房雄（東北大学大学院農学研究科教授）において書類審査及び現地調査が行われ、7部門21点の優れた技術・経営等に天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞と併せて、女性の活躍として内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の受賞者(以下「三賞受賞者」という。)を選定した。表彰事業開始以来の農林水産大臣賞総点数は、33,578点となった。

なお、選賞審査に当たり、中央審査委員会総会、主査等会議及び7分科会を次のとおり開催した。

(参考1) 分科会名、主査氏名及び所属・職名

| 分科会名            | 主査氏名  | 所属・職名                              |
|-----------------|-------|------------------------------------|
| 経営<br>(多角化経営兼任) | 納口るり子 | 筑波大学名誉教授                           |
| 農産・蚕糸           | 中谷誠   | (国研)農研機構 副理事長                      |
| 園芸              | 樫村芳記  | (国研)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター研究開発監    |
| 畜産              | 栗原光規  | (国研)農研機構 本部企画戦略本部研究統括部スマート農業事業推進室長 |
| 林産              | 鮫島正浩  | 信州大学工学部 特任教授                       |
| 水産              | 神山孝史  | (国研)水産研究・教育機構 経営企画部理事 長補佐役         |
| むらづくり           | 福与徳文  | 茨城大学農学部 教授                         |

注) 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構は(国研)農研機構と表示

(※所属・職名は、令和4年7月1日現在)

#### ① 第1回総会、主査等会議

期日 令和4年7月1日(金)

場所 webによる開催

議題 ア 会長の選任、専門委員の委嘱について

イ 審査日程等について

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①分科会主査の役割、②分科会の運営及び審査上の留意点、③現地調査等について討議。

#### ② 第2回総会、主査等会議

期 日 令和4年10月4日(火)  
 場 所 農林水産省第2特別会議室  
 議 題 天皇杯等選賞審査部門別報告及び選賞決定について

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①審査に当たって問題となった事項、②その他について報告・協議。

③ 分科会（分科会毎に各2回開催）

期 日 令和4年7月～9月  
 場 所 農林水産省内会議室及びWeb形式  
 議 題 各部門の天皇杯等三賞候補の選定等について

(参考2) 各分科会開催状況及び現地調査地

| 分科会名                      | 分科会開催月日                | 現地調査地                      |
|---------------------------|------------------------|----------------------------|
| 経 営<br>(多角化経営)<br>(女性の活躍) | 第1回 7月12日<br>第2回 9月20日 | 鹿児島、熊本、<br>茨城、<br>女性の活躍：熊本 |
| 農産・蚕糸                     | 第1回 7月22日<br>第2回 9月14日 | 静岡、兵庫、福島                   |
| 園 芸                       | 第1回 7月19日<br>第2回 9月13日 | 滋賀、岡山、京都                   |
| 畜 産                       | 第1回 7月13日<br>第2回 9月12日 | 岐阜、岡山、熊本                   |
| 林 産                       | 第1回 7月26日<br>第2回 9月 6日 | 静岡、熊本、宮崎                   |
| 水 産                       | 第1回 7月26日<br>第2回 9月12日 | 長崎、北海道、<br>福岡              |
| むらづくり                     | 第1回 7月26日<br>第2回 9月12日 | 京都、長野、新潟                   |

※畜産分科会現地調査は、現地とWeb形式を併用

(参考3) 令和4年度 三賞受賞者一覧

| 区 分   | 部 門 別 | 受 賞 者 名                  |
|-------|-------|--------------------------|
| 天 皇 杯 | 農産・蚕糸 | (有)高ライスセンター<br>代表 佐々木 教喜 |
|       | 園 芸   | (有)花 匠 代表 川口 正           |
|       | 畜 産   | (株)アドバンス 代表 永田浩徳         |
|       | 林 産   | 渡邊 定元                    |
|       | 水 産   | 井原水産(株) 代表 井原 慶児         |
|       | 多角化経営 | (株)パストラル 代表 市原幸夫         |
|       | むらづくり | 稲倉の棚田保全委員会<br>代表 久保田 良和  |

|              |       |                                      |
|--------------|-------|--------------------------------------|
| 内閣総理大臣賞      | 農産・蚕糸 | 農事組合法人 山東茶業組合<br>代表 伊藤 智章            |
|              | 園芸    | J A 京都にのくに<br>万願寺甘とう部会協議会<br>代表 添田 潤 |
|              | 畜産    | 吉野 毅*<br>吉野 聡子*                      |
|              | 林産    | 長倉 良守                                |
|              | 水産    | 豊前海北部漁業協同組合<br>恒見支所青壮年部<br>代表 江口 一弘  |
|              | 多角化経営 | 農事組合法人 深作農園有限会社<br>代表 深作 勝己          |
|              | むらづくり | 下集落支援事業委員会<br>代表 大下 裕宣               |
|              | 女性の活躍 | セブンフーズ(株)<br>代表 前田 佳良子               |
| 日本農林漁業振興会会長賞 | 農産・蚕糸 | (株)グリーンファーム揖西<br>代表 猪澤 敏一            |
|              | 園芸    | JA晴れの国岡山船穂町ぶどう部会<br>代表 浅野 三門         |
|              | 畜産    | (有)たかた採卵<br>代表 高田 安紀彦                |
|              | 林産    | 穴井 里奈                                |
|              | 水産    | 長崎海産(株)<br>代表 三宅 ちはる                 |
|              | 多角化経営 | (有)ふくどめ小牧場<br>代理 福留 公明               |
|              | むらづくり | (株)Mt.ファームわかとち<br>代表 細金 剛            |
|              | 女性の活躍 | 穴井 里奈 (重複受賞)                         |

(注) 受賞者名欄の\*印は、夫婦連名による受賞を示す。

## (2) 農林水産祭式典等

### ① 式典

令和4年度(第61回)農林水産祭式典を11月23日(水)に明治神宮会館において開催した。

式典は、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めつつ、三賞受賞者、農林水産大臣賞受賞者、農林水産省幹部、中央・地方の農林水産関係者等約550名が参列した。

野村哲郎 農林水産大臣の主催者挨拶の後、生産者を代表し「多角化経営部門」天皇杯受賞者(株)パストラル代表 市原 幸夫氏が、消費者を代表して、

明治神宮総代 深尾精一氏が、それぞれ収穫感謝の言葉を述べた。

次に、伊藤房雄 農林水産祭中央審査委員会会長による天皇杯等三賞の選賞審査報告の後、天皇杯は 野村哲郎 農林水産大臣から表彰状が、林 良博 日本農林漁業振興会会長から天皇杯が授与された。内閣総理大臣賞は野村哲郎 農林水産大臣から、日本農林漁業振興会会長賞は林 良博 会長から、それぞれ授与された。

引き続き、内閣総理大臣からのメッセージを紹介、続いて、細田博之 衆議院議長及び尾辻秀久 参議院議長からの祝電を披露した。

また、式典会場 1階ロビーにおいて、三賞受賞者を写真パネルで紹介するとともに、農林水産大臣賞の都道府県別受賞者名をパネルで展示し紹介した。

## ② 大臣懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、参加者を三賞受賞者、農林水産大臣ほか農林水産省幹部、本会会長及び理事長に限定し開催した。

まず、三賞受賞者を代表して各部門の天皇杯受賞者から受賞のお礼や今後の抱負等についてお話があり、その後、野村哲郎 農林水産大臣、野中厚 農林水産副大臣、角田秀穂 農林水産大臣政務官、横山紳 農林水産事務次官から受賞者に対して挨拶をいただいた。

## (3) 天皇皇后両陛下への拝謁、業績説明及び皇居特別参観

### ① 天皇皇后両陛下への拝謁、業績説明

令和5年3月3日(金)、天皇杯受賞者が、皇居宮殿(春秋の間)において天皇皇后両陛下に拝謁し、受賞者の代表として水産部門 井原水産(株)代表 井原慶児氏から天皇杯受賞に対するお礼言上を行い、その後、受賞者それぞれが業績について天皇皇后両陛下へのご説明を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止の為、部門毎に受賞者1名と伊藤房雄 中央審査委員会会長、川合豊彦 農林水産省大臣官房技術総括審議官の2名が同伴した。

また、拝謁に先立って宮内庁担当官の案内により、皇居特別参観が行われ、バスと徒歩で宮殿、中庭、二重橋、生物科学研究所(水田)、紅葉山御養蚕所等を参観した。

### ② 皇居特別参観

令和2年度、令和3年度の天皇杯受賞者の拝謁並びに業績説明については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となったが、宮内庁のご配慮により令和4年7月8日(金)に皇居特別参観を行った。

宮内庁担当官の案内により、宮殿と回廊に囲まれた中庭、二重橋、賢所、生物科学研究所(水田)を参観した。

## (4) 優秀農林水産業者に係るシンポジウム

天皇杯受賞者等の優れた技術・経営及び優良なむらづくりの事例の業績を発表し、その業績を普及するため、シンポジウム(トップリーダー発表会)を開催している。

本年度は、天皇杯受賞者の優れた農林水産業の経営・技術の取組の紹介として、次のとおり実施した。

- ① 令和4年7月6日(水)、東京都港区三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、令和3年度農産・畜産部門で天皇杯を受賞した農事組合法人仙台イーストカントリーの業績を取り上げて、【東日本大震災からの復興と6次産業化の取組】をテーマに約100名(内web参加者40名)の参加者(行政関係者、農林関係団体、関連企業等)の下開催し、中谷 誠 農林水産祭中央審査委員会農産・畜産分科会主査((国研)農研機構副理事長)の選賞審査報告の後、農事組合法人仙台イーストカントリー代表理事の佐々木 均氏による業績発表を行った。  
また、中谷 誠氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメントーターとして、山岸順子 農林水産祭中央審査委員会農産・畜産分科会委員(元東京大学大学院教授)、森田 明 公立大学法人宮城大学食産業学群教授、菊地敬子 宮城県仙台農業改良普及センター技術主査による意見交換、参加者との質疑応答を行った。
- ② 令和4年8月30日(火)、長崎県長崎市において、令和3年度多角化経営部門で天皇杯を受賞した(有)シュシュの業績を取り上げて、【6次産業化で地域の課題解決と活性化を実現】をテーマに約90名(内web参加者40名)の参加者(行政関係者、農林関係団体、関連企業等)の下開催し、伊藤房雄 農林水産祭中央審査委員会会長(東北大学大学院教授)による選賞審査報告の後、山口成美(有)シュシュ代表取締役による業績発表を行った。  
また、伊藤房雄氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメントーターとして、澁谷美紀 農林水産祭中央審査委員会経営分科会委員((国研)農研機構北海道農業研究センター研究推進部長)、伊藤秀雄(有)伊豆沼農産代表取締役会長、岩間智子 長崎県農林部農山村振興課課長補佐による意見交換、参加者との質疑応答を行った。
- ③ 令和5年2月21日(火)、熊本県熊本市において、令和4年度畜産部門で天皇杯を受賞した(株)アドバンスの業績を取り上げて、【地域畜産の基盤となる大規模自給飼料生産・活用型TMRセンター】をテーマに約120名(内web参加者70名)の参加者(行政関係者、農林関係団体、関連企業等)の下開催し、栗原光規 農林水産祭中央審査委員会畜産分科会主査((国研)農研機構企画戦略本部研究統括部スマート農業事業推進室長)による選賞審査報告の後、永田浩徳(株)アドバンス代表取締役による業績発表を行った。  
また、栗原光規氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメントーターとして、小泉聖一 農林水産祭中央審査委員会経営分科会専門委員(日本大学生物資源科学部特任教授)、大下友子(国研)農研機構生物系特定産業技術支援センター事業推進部戦略的研究開発課研究リーダー、廣瀬大造 熊本県北広域本部農林水産部農業普及・振興課主幹による意見交換、参加者との質疑応答を行った。
- ④ 令和5年3月6日(月)、長野県上田市において、令和4年度むらづくり部門で天皇杯を受賞した稲倉の棚田保全委員会の業績を取り上げて、【美しい

棚田 稲倉 ～眺めるだけではない、カカワレルタナダ～】をテーマに約 140 名(内 web 参加者 50 名)の参加者(行政関係者、農林関係団体、関連企業等など)の下開催し、福与徳文 農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会主査(茨城大学農学部教授)による選賞審査報告の後、久保田良和 稲倉の棚田保全委員会委員長並びに玉崎修平 同委員会事務局次長による業績発表を行った。

また、福与徳文氏をコーディネーターとして、業績発表者並びにコメンテーターとして、畠山智之 農林水産祭中央審査委員会委員(NHK放送研修センター日本語センターエグゼクティブアナウンサー)、土屋陽一(上田市市長)、内川義行 信州大学農学部准教授による意見交換、参加者との質疑応答を行った。

#### (5) 優秀農林水産業者の業績等の普及啓発・広報宣伝

農林水産祭の趣旨及び農林水産業に係る優良事例の普及啓発を図るため、次のとおり幅広く普及啓発に努めた。

##### ① 出版物による普及啓発

優秀農林水産業者の業績の普及を図るため、三賞受賞者の業績に係る出版物「農林水産祭受賞者の業績(技術と経営)」(500 部)、「栄えの受賞に輝く」(1,100 部)、「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」(700 部)を作成し、関係者に配布した。

なお、毎年発行している農林水産祭事業を写真等で紹介する「農林水産祭(クローズアップ)」(10,000 部)については、年度末に天皇皇后両陛下への業績説明等の行事が行われたことから、5年度当初に作成し配布することとした。

##### ② ホームページによる広報・宣伝

農林水産祭及び三賞受賞者の業績及びシンポジウムの概要等について、農林水産省及び本会ホームページ等で広報・宣伝を行った。

## 2 啓発事業

令和 4 年度実りのフェスティバルは、農林水産業と食に対する国民の理解と認識を深めるとともに農林水産物の消費拡大等に資するため、11 月 11 日(金)・12 日(土)の 2 日間、東京都豊島区の池袋サンシャインシティにおいて 3 年ぶりに開催した。

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染延防止の為、Web による事前受付の導入及び検温、消毒等の対策を行った。

なお、2 日間の来場者数は、約 1 万 5 千人であった。

### (1) 皇室のご来臨

11 月 11 日(金)、開場に先立ち、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご来臨を賜り、勝俣孝明 農林水産副大臣等のご案内により、天皇杯コーナー、政府特別展示コーナー(注 1)、都道府県地域農林水産展コーナー(注 2)、農林水産関係団体コーナー(注 3)をご視察頂いた。

(注1) 政府特別展示コーナー : 環境バイオマス政策課  
技術会議事務局・(国研)農研機構

(注2) 都道府県地域農林水産展コーナー : 青森県、栃木県、埼玉県、長野県、  
富山県、岐阜県、宮崎県、山形県、  
徳島県、佐賀県 計10県

(注3) 農林水産関係団体コーナー : 独立行政法人農畜産業振興機構、  
一般社団法人全国農業協同組合中央会  
(JAひろば)

(2) 三賞受賞者の紹介展示及び政府特別展示コーナー等

① 「三賞受賞者コーナー」では、天皇杯受賞者の業績概要と、内閣総理大臣賞受賞者及び日本農林漁業振興会会長賞受賞者を、写真パネルで紹介した。

② 政府特別展示コーナーでは、

- ・ みどりの食料システム戦略の実現に向けて
- ・ 農林水産統計に見る日本の農林漁業の姿
- ・ 農林水産物・食品の輸出促進について
- ・ 野生いのししの豚熱対策
- ・ 動物検疫所の紹介
- ・ 意外と知らない食品の表示・認証制度
- ・ お米の魅力に迫る！  
～食べて！見て！知って！ 米・米粉をおいしく食べよう～
- ・ 日本の食卓 改良と技術で守ります  
～小さなタネから大きなウシまで～
- ・ つなぐ棚田遺産  
～日本の棚田とその様々な機能～
- ・ 農業遺産を応援しよう！  
～歴史が紡ぐ農業に思いを馳せる～
- ・ 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」  
地域の活性化や所得向上につながる農山漁村の優良取組事例！
- ・ 「農業」と「福祉」がつながって日本を元気に！  
～みんなで耕そう！ノウフク・プロジェクト～
- ・ 田んぼの水はどこからやってくる？  
～360° 動画を用いた農業水利施設見学体験～
- ・ スゴいぞ！日本の農林水産技術
- ・ 実りを支える農研機構
- ・ 木づかいでウッド・チェンジ～
- ・ 海の豊かさをいつまでも

等のテーマを掲げ、政府が行っている施策等をパネル、パンフレット、模型、映像等により分かり易く紹介した。



(3) 都道府県の出展コーナー

① 地域農林水産展コーナー

30道県参加の下、全国各地の「郷土特産農林水産物」の展示、販売、試飲・試食等を行った。

② 都道府県技術・経営普及展示コーナー

13道県が参加し、道県で開発した独自の新技术や特徴ある農林水産物について、実物、パネル、パンフレット等により展示・紹介した。

③ 東日本大震災被災地復興支援コーナー

東日本大震災被災地復興支援活動として、公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会が東日本大震災被災地の支援状況を写真と絵により紹介した。

(4) 農林水産関係団体コーナー

10の農林水産関係団体の参加を得て、団体の業務に関する展示、実演、即売等を行った。

① JAひろば

「米の消費拡大」を大枠のテーマとし、JAグループの掲げる「国消国産」の普及と「米粉」の認知度向上を2本の柱とし、「米」を通じて農業を身近に感じていただく体験コーナー・展示を行った。

② 参加・体験型コーナー

家族ぐるみで参加し楽しめるイベントとして、公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会による「ポニーの体験乗馬」を行った。

③ その他

各農林水産関係団体では、来場者が参加できる体験コーナー、クイズ、試飲・試食が楽しめるコーナー、各種展示等を行った。

(5) その他

御当地キャラ、キャンペーンガール等とのふれあい及び撮影会を行った。

(6) 広報・宣伝

実りのフェスティバルについて、本会ホームページ及び「レッツエンジョイ東京」への掲載のほか実りのフェスティバル会場周辺のJR駅等、都営さくらトラム（都営荒川線）車両内つり広告でポスターを掲示し周知に努めた。

また、都道府県、出展団体、関係省庁等、首都圏における農産物直売所・道の駅、都内アンテナショップ等にポスター、チラシを配布し広報・宣伝に努めた。

(7) 関連行事

農林水産祭を祝い、実りの喜びを分かち合うとの趣旨から、福祉施設への農林水産物の贈呈を、7道県及び2団体の協力を得て実施した。提供された農林水産物は、実りのフェスティバル終了後、東京善意銀行を通じて、都内の福祉施設へ

贈呈された。

なお、令和4年11月12日、社会福祉法人東京都社会福祉協議会会長から本会に対し感謝状が贈られた。

## II 会 議

事業の円滑な推進を図るため、次の諸会議を開催した。

### 1 農林水産祭実行委員会

農林水産祭実行委員会(会長：農林水産省大臣官房長)を次のとおり開催した。

開催日 令和4年5月20日(金)  
場 所 書面による  
議 題 ア 農林水産祭全体計画(案)について  
イ 農林水産祭実施スケジュール(案)について 等

### 2 農林水産祭担当者会議

農林水産祭担当者会議として、次のとおり開催した。

#### (1) 第1回都道府県担当者会議

開催日 令和4年6月27日(月)  
場 所 Web形式  
議 題 ア 農林水産祭全体計画について  
イ 顕彰普及関係行事等について  
ウ 啓発関係行事について  
エ 農林水産祭参加表彰行事に係る手続き等について 等

#### (2) 実りのフェスティバル出展団体担当者会議

開催日 令和4年9月22日(木)  
場 所 サンシャインシティ会議室  
議 題 ア 農林水産祭全体計画について  
イ 実りのフェスティバルについて  
・会場配置等について  
・実りのフェスティバル出展に係る注意事項について 等

#### (3) 第2回都道府県担当者会議

開催日 令和4年9月22日(木)  
場 所 サンシャインシティ会議室  
議 題 ア 顕彰普及関係行事について  
・天皇杯等三賞の決定の公表について  
・農林水産祭式典等について  
・優秀農林水産業者に係るシンポジウム実施計画(案)  
イ 実りのフェスティバルについて  
・会場の配置等  
・皇室視察スケジュール等

### 3 評議員会

評議員会は、次のとおり開催した。

#### 定時評議員会

|     |  |
|-----|--|
| 開催日 | 令和4年6月29日(水)   |
| 場所  | 三会堂ビル2階 A会議室   |
| 議題  | ア 令和3年度事業報告及び決算(案)について<br>イ 評議員の選任等(案)について<br>ウ 理事及び監事の選任等(案)について<br>エ 事務所の移転及び定款の一部改正(案)について<br>オ その他 |

### 4 理事会

理事会は、次のとおり3回開催した。

#### (1) 第1回

|     |   |
|-----|---|
| 開催日 | 令和4年5月25日(水)  |
| 場所  | 三会堂ビル2階 A会議室  |
| 議題  | ア 令和3年度事業報告及び決算(案)について<br>イ 令和4年度定時評議員会の開催(案)について<br>ウ 会長の委嘱(案)について<br>エ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について<br>オ 平成3年度における資産運用状況報告について |

#### (2) 第2回

|     |  |
|-----|--|
| 開催日 | 令和4年6月29日(水)(書面決議)                       |
| 議題  | ア 副理事長の選定について<br>イ 理事長の職務代理及び職務代行の順序について |

#### (3) 第3回

|     |  |
|-----|--|
| 開催日 | 令和5年3月27日(月)   |
| 場所  | 大手町JAビル3階 302会議室   |
| 議題  | ア 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について<br>イ 特定費用準備資金の積立及び取崩(案)について<br>ウ 資金調達及び設備投資の見込み(案)について<br>エ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について |

## Ⅲ その他

### 事務所移転

当会が入居していた三会堂ビル(港区赤坂)は、建替えることとなり令和4年度末までに退去するよう求められたことから、これまでと同程度の面積の普通借家、賃借料はできるだけ安価、農林水産省、東京駅、羽田空港との交通の便が良い地域等を念頭に移転先物件の検討を行い、令和4年12月12日に中央区築地三丁目12番5号 築地小山ビル4階(44.46坪)に移転した。